

## 第10回（平成28年度）栃木県元気な農業コンクールいきいき農村部門受賞者紹介

### ☆ 女性・高齢者活動の部

#### (1) 審査経過

女性・高齢者活動の部は、女性活動が4事例、高齢者活動が2事例の合計6事例の応募があり、いずれも、いきいきとした女性や高齢者の活躍が農村活性化に繋がっている素晴らしい事例でした。

審査は「自主的努力と創意工夫」、「推進体制の整備と運営」、「男女共同参画・高齢者社会参画の状況」、「地域の農業振興や活性化への寄与」の4つの基準にもとづいて行い、書類選考及び現地調査を経て、各賞を選出いたしました。

#### (2) 受賞組織の概要

##### ● とちぎ元気大賞（栃木県知事賞・関東農政局長賞）

###### 株式会社 升智 代表取締役社長 布瀬 智子 氏（益子町）

酪農家に生まれ、牛乳の消費を拡大したいという思いからジェラート販売を始め、女性の感性とたゆまぬ努力により、県産の牛乳や果物等をふんだんに使用したこだわりのジェラートを数多く開発しています。

地域農産物の消費拡大に寄与するだけでなく、JAや自治体、酒蔵、窯元と共に地域の活性化を目的とした協議会を立ち上げ、観光バスの周遊ルートの開拓を行う等、積極的に地域経済の活性化に貢献しています。

家族の理解や協力を得ながら、自身の経営に対する理想や地域発展への想いを実現していく姿は、本県の女性経営者の模範となる事例であることから、とちぎ元気大賞に選出いたしました。



ショップのスタッフと



2015 ジェラートコンテスト

##### ● とちぎ元気賞（栃木県知事賞）

###### なでしこ委員会（栃木市）

栃木市農業委員会の特別委員会の一つとして、女性農業者や青年農業者のサポートや食農教育等の活動を行っています。

具体的には、女性農業者の要望に応じて行う農業経営や技術に関する教室の開催や、青年農業者を対象とした婚活イベントの開催、地元小学校と連携した農業体験学習、家族経営協定の締結推進活動等を実施しています。

女性ならではの視点を生かした様々な活動は、委員自らが企画立案から運営までを担っており、地域の活性化に繋がっているだけでなく、女性農業者の地位向上に大きく貢献していると認められることから、とちぎ元気賞に選出いたしました。



なでしこ委員会のメンバー



家族経営協定の勉強会

● 特別賞（栃木県農業協同組合中央会長賞）

青木ふるさと物産センター産直会（那須塩原市）

都市交流及び地域振興の拠点となる、道の駅「明治の森・黒磯」のオープンに伴って平成10年に発足し、直売所の運営に携わっています。

直売所利用者へのアンケートを実施し、商品の品質や品揃え向上のための栽培講習会や検討会を行い、消費者ニーズに沿った運営を心がけています。

また、地元の商工業者と連携して地域の農産物を使ったギフト商品の販売や、観光客をターゲットとしたイベントの開催、6次産業化の取組等、地域経済の活性化に大きく貢献している他、地元小学生に対する農業体験の実施等の地域貢献活動が高く評価いたしました。



イベントの開催（収穫祭）



6次産業化の取組

● 特別賞（下野新聞社長賞）

鹿沼市粕尾さと山振興会（鹿沼市）

粕尾ふれあいの郷づくり協議会に「手づくりコンニャク部」を設立し、定年帰農の男性メンバーでこんにゃく生産から加工販売までを行っています。こだわりの栽培や製造方法によってできたこんにゃくは、消費者から高い評価を得ています。

在来種のこんにゃくを作付けすることで、地域の伝統の味を守るとともに、耕作放棄地の減少にも繋がっています。また、観光客に向けた飲食店への原料提供や東京のイベントへの参加も積極的に行っており、こんにゃくや地元野菜の販売をとおして地域のPRを行っています

活動内容から伝統の味を守ろうという熱い気持ちが伝わり、次世代への技術伝承等、今後の展開が期待される点を高く評価いたしました。



振興会のメンバー



こんにゃくいもの選別